

ARCUS

Artist In Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00 ~ 18:00)
- ✉ arcus@arcus-project.com
- ◎ 詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索!



市役所にて

レジデンスプログラムを招へいアーティストが来日してから1カ月半が経ちました。日本の秋を満喫しながら制作に精力的に取り組んでいます。

ジハド・ジャネル (トルコ)



アーカスプロジェクトでの滞在が始まって数週間が経ちました。ここで制作をする機会を与えられて幸せです。

オープンングレセプションで出会った守谷の素敵な温かい方たちは、私のリサーチに興味を持ってくださり、彼らのホスピタリティを感じる事ができました。守谷での生活に、とてもわくわくしています。

アーカスプロジェクトでは、トルコの伝統的なモンスターと『百鬼夜行』などに出てくる日本の妖怪についてリサーチします。

表象の方法論において、いかに他者が「モンスター」のように恐ろしいものとして描かれ、流通されてきたかに焦点を当てます。

コメントと自己紹介

エリカ・セルジ (米国)



ニューヨークを拠点に彫刻やインスタレーションを制作しています。個人的な物語や詩的なアプローチに根差して、織物や産業製品を用いながら商業的な製造活動の本来の目的とは異なる利用法を探求しています。

廃校を活用したもりや学びの里にあるアーカススタジオは、私が経験したことのない典型的な日本の小学校のデザインに興味深いです。また、夏の蒸し暑さとセミの声は、私が育ったワシントンD.C.郊外を思い起こさせました。世界で初めて遺伝子組み換えによる蚕の開発に成功した農研機構(つくば市)を訪れ、養蚕業の歴史を学び、そのリサーチ成果を高性能の織物の制作に生かしたいと思っています。

イリカ・ファン・ローン (オランダ)



守谷に来てからまだ日が浅いですが、すでに多くの新しい経験をしています。特に、夜ベッドで寝ている間に感じた地震への驚きと恐れは、これからの制作活動に生かされるでしょう。

私は、人間の体と地球の「体」をつなげ、対話を築くことに関心があります。オランダに比べて日本では地球の活動を、より強く感じる事ができます。

アーカスプロジェクトでは、地元の方や専門家との会話を通して、地球と人間がコミュニケーションする方法について探求します。私は日本語を話さないのですが、会話には手や足を使ったジェスチャーが含まれるでしょう。こういった身振りも作品の中に取り入れていきたいです。

オープンスタジオ 開催日決定!



ゲストキュレーターとのミーティング

アーティストたちの滞在制作の成果を発表するオープンスタジオを今年も開催します。彼らの制作の拠点であるスタジオを見学できるほか、アートの専門家によるツアー、恒例のキッズツアーなど文化の秋を楽しむさまざまなイベントを用意しています。お問い合わせの上、ご来場ください。

- ▼日時 11月21日(水)~25日(日)
午後1時~7時※入場無料
- ▼会場 アーカススタジオ(板戸井2418 もりや学びの里内)

※詳しいイベント情報は、公式ホームページまたは広報もりやお知らせ版10月25日号で紹介いたします。